

事務事業名	《H24新規》 荻沢東南湖線歩道設置整備事業		所属部局	建設部	単位番号	2012- 999030				
	□ 実施計画事業		所属課室	道路整備課	課長名	新津 元博				
			所属担当	道路河川担当	担当者名	市川幸雄				
基本政策	基本計画体系	Ⅲ うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	11	道路網の整備	01	一般	08	02	02	020	26	
施策	18	生活関連道路の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (24 ~ 26 年度)		法令根拠	道路法・道路構造令						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 1. 事業の内容: 昨今、通学道路上で登下校時に児童らが交通事故に会う事案が多発している状況であり、危険箇所の解消を行なう歩道整備事業である。当該箇所は南湖小学校への通学路となっているが、小学校より東側及び西側については小学校に隣接した西側200mを除いて、2.0~2.5mの歩道が既に整備されている。このため、未設置区間の200mについて児童らの安全確保のためにも早急に整備する必要がある。 2. 事業費の内訳: 設計委託、用地買収・補償、歩道整備工事			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 工事請負費 12,408 計 12,408						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	歩道設置工事L=200m	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定				ア事業用地取得割合	%
					イ工事延長の割合	%
					ウ測量延長の割合	%
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	道路利用者 歩道整備区間(荻沢東南湖線)		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア利用者数	人
					イ歩道計画延長	m
					ウ計画路線の起業地面積	m ²
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	歩道未整備区間の整備により児童らの安全確保を図る。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア事業の進捗率	%
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	児童生徒及び通行車両双方の安全確保・利便性向上		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア市内の道路は安全に歩行できると回答した市民の割合	%

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	2,569	10,194	6,824			
		県支出金	千円						
		地方債	千円	1,900	7,900	5,300			
		その他	千円						
		一般財源	千円	203	441	284			
	事業費計(A)	千円	4,672	18,535	12,408	0	0	0	
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	2	4	2			
		延べ業務時間	時間	200	400	200			
		人件費計(B)	千円	910	1,820	910	0	0	0
	(A)+(B)	千円	5,582	20,355	13,318	0	0	0	
活動指標	ア	%	0.0	100.0	100.0				
		%	0.0	61.0	100.0				
		%	100.0	100.0	100.0				
対象指標	ア	人	300.0	300.0	300.0				
		m	200.0	200.0	200.0				
		m ²	500.0	500.0	500.0				
成果指標	ア	%	10.0	66.2	100.0				
		%							
		%							
上位成果指標	ア	%	32.9	33.6	32.5	33.0			
		%							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成18年度より南湖小学校PTA会長をはじめ、平成19年度に南湖小学校PTA会長、南アルプス交通安全協会甲西支部南湖分会長、和泉区長、平成23年度に田島、天神、西南湖、和泉各区長、小学校長、PTA会長、
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	小学校PTAを筆頭に関係各位より年々要望が強くなっている。平成24年度において全国で通学路上で学童が登下校時に交通事故に巻き込まれる事案が多発しているため、益々強くなっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	平成20年度、23年度に議会において、未整備区間の早期解消の一般質問があり、23年度答弁として、平成25年度新規事業として申請を行なうとの答弁をする。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	事務事業の精査により、既存施設の利用を行ないコスト削減に努める。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	発注工事価格精査

事務事業名	《H24新規》荊沢東南湖線歩道設置整備事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	-----------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 道路利用者の安全確保を図るため整合性がある。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 インフラ整備の一つであり、受益者が市民全体となるので、公共事業として行うのが妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 道路利用者のうるおいと利便性の向上を目的に進めているので妥当である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 詳細設計を行う時点で、より経済的な工法選択により清目的を達成するよう指示・管理をおこない詳細設計しているので難しい。また、補助事業であり、道路構造令等に合致させるため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 各路線の整備を進めているため、統合できない。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 地元説明会を終え、関係者の同意を得たばかりであり、反故するような事になれば、市政に対する信頼が無くなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市の主要施策事業に位置づけられている。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 設計段階ですでに行っている。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 既に最小人員で取り組み、積算システムの運用及び事務事業の精査によるコスト削減に務めている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 道路利用者の安全確保を図るため、受益者は市民全体となるので公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	しっかりとした工程管理のもと早期に事業を完了し、安全な通学路環境の推進を図れた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					